

# 一般質問(要旨) 「市政のここを問う」

今定例会では、17名の議員が市政全般にわたり一般質問を行いました。

要旨は1~2問とし掲載しました。

会議録は2月上旬頃に市役所情報コーナー及び図書館に配置します。

また、福生市ホームページにも掲載しますので、ぜひご覧ください。

なお、一般質問通告一覧は、福生市議会ホームページに掲載しています。

※録画映像を議員名左横のQRコードよりご覧いただけます。



◀議員BOOK  
▶福生市議会HP  
(通告一覧へリンクします)



## 令和8年度予算編成について



正和会  
小林 貢 議員



質問 令和8年度予算編成の基本的な考え方、重点施策などを伺う。

市長 令和8年度は老朽化した施設への対応や経常経費の大幅な増加などが想定されており、引き続き経費節減と財源の重点的、効果的配分が重要と考える。主な重点施策は観光施策の強化、平和への啓発強化、防災対策のさらなる推進、JR福生駅周辺整備などで、「人を育み 夢を

育む 未来につながるまち ふっさ」の実現に向け各種施策を推進する。

教育長 教育委員会の重点施策として、不登校の生徒に配慮した学びの多様化学校「福生市立牛浜もくせい中学校」の開校、小学校に日本語学級と自閉症・情緒障害特別支援学級の新設準備、部活動の地域展開トライアル事業、福生野球場の全面人工芝化等の改修について推進する。

### 防災・災害対策について

質問 教員の防災教育に関する指導力の向上について伺う。

教育長 東京都安全教育プログラムを基本に、年間を通じ意図的・計画的に安全教育・防災教育を実施。実践を通じ指導力向上に取り組むほか、毎月の避難訓練では、多様な場面や条件を設定し、初動対応力や判断力を高めるよう取り組んでいる。



▲福生市役所外観

## 企業との連携による地域課題解決の推進について



正和会  
山崎 貴裕 議員



質問 企業との包括連携協定の締結状況と今後の取り組みを伺う。

市長 令和7年度は新たに、西武信用金庫と子育て及び移住定住促進や地域活性化等について、佐川急便株式会社と大規模災害時の支援、地域の安全や環境保全等についての協定を締結した。今後は企業などとの連携に係る基準の策定を検討しており、手続や判断基準を整理すること

で、官民連携の目的や方向性の明確化と公平性や透明性を確保し、市民の皆様に対する説明責任を果たすことができるものと考える。

### 福生市の中・小学校における多文化共生について

質問 小・中学校での日本語指導の現状や課題を伺う。

教育長 外国籍などにより日本語での会話や授業の理解が困難な児

童・生徒が一定数在籍しており、福生第一小学校と福生第二中学校に日本語学級を設置、必要に応じスクール・アシスタント・ティーチャーや日本語適応支援員を活用した支援体制を構築しているが、日本語指導が必要な児童の急増や地理的要因による機会不均衡などの課題が生じております。令和9年度に福生第二小学校に日本語学級を新設する準備を進めます。



## 避難所運営等について



正和会  
森田 哲哉 議員



質問 10月に実施した福生市総合防災訓練では避難所訓練に対し「アクションカード」という新たな手法が導入された。導入に至った背景と目的、参加者の反応や、運営面で得られた手応え、課題等の評価を伺う。

市長 従来の避難所訓練では同様の訓練を毎年繰り返し行い、技術の修得を図ってきたが、自主防災組織より「もっと実践的な訓練をした

い」などの意見があり、新たな取り組みとして導入。アクションカードは災害応急対応を迅速に行うための指示書で、避難所の開設・運営を熟知していない方でも、実災害で避難所に参集したことを想定し、カードに基づく行動を取ることで迅速に避難所開設が実現することを目的としている。自主防災組織との対話や市民向け防災講座での参加者との意見

交換を基に市職員により企画・作成したものです。訓練の感想としては、初の試みで多少の混乱はあったが、実災害が想定され、おおむねよい取り組みであるとの意見を多くいただいた一方で、災害発生時の本格的な運用に向け改善すべき点も見つけられた。今後さらに実効性を検証し、令和8年度はより一層、本市の防災力を高める意義のある訓練としたい。



## 外来種や有害鳥獣への対策等について



正和会  
仲間 正司 議員



質問 本市ではアライグマやハクビシンなどの外来種に対し毎年対策を講じ防除の成果を上げているが、近年、有害鳥獣であるネズミやカラスによる被害の声が市民から多く寄せられている。本市における外来種や有害鳥獣による被害の把握と駆除体制など現状の対策について伺う。

市長 アライグマ、ハクビシンの防除は、令和6年3月策定の第2次

福生市環境基本計画で市民等と連携して対策を講じる重点課題と位置づけ、東京都が策定したアライグマ・ハクビシン防除実施計画と連携しながら継続的に対策している。委託業者とともに相談者等の敷地や情報提供されたポイントにわなを設置することなどにより、外来種への防除を講じている。一方、ネズミやカラスについては、適切な駆除方法や効果

的な予防策など専門業者による対応が必要となり、併せて建物所有者等による適切な建物の管理やごみの管理が不可欠であるため、駆除の相談や防除等について知見を有する公益社団法人東京都ペストコントロール協会を紹介している。今後も市に寄せられる相談などに対し、優先度やコストを考慮し、持続的な対策を図りたい。

